

明治のナインゲール に学ぶ 未来のケアイノベーション 看護の原点と先端科学の融合

ナインゲールから始まった近代看護の歴史と
超高齢社会の未来が交差する貴重な機会に、ぜひご参加ください。

12/4 2026 **FRI**
14:00~17:30

Program

14:00~

開会挨拶

片岡 一則 川崎市産業振興財団 副理事長 / iCONMセンター長
福田 紀彦 川崎市市長 ※ビデオ登場

来賓挨拶

長我部信行 JST 共創の場形成支援プログラム 共創分野・地域共創分野
第2領域プログラムオフィサー
中村 明雄 文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課
拠点形成・地域振興室 室長

プロジェクト Update

一木 隆範 プロジェクトリーダー / iCONM研究統括
東京大学大学院工学系研究科 教授

14:45~

特別講演

近代看護の先駆者“明治のナインゲール” 大関和

田中 ひかる 先生

NHK連続テレビ小説「風、薫る」の原案
『明治のナインゲール 大関和物語』の著者。

明治初期、日本にはまだ「看護」という概念さえ十分に根付いていませんでした。そのような時代に、多くの困難を乗り越え、西洋の看護を日本に導入した大関和さん。ドラマでも描かれる換気の重要性や皺ひとつないシーツの敷き方、患者さんの心に寄り添う姿勢は、130年を経た今も変わらない看護の基本です。一方、少子高齢化が進む現代では、在宅療養を支える人材が不足し、誰もが「支える側」にも「支えられる側」にもなり得る時代を迎えています。本講演後の座談会では、看護の歴史を振り返りながら、「人を支える」とはどういうことを改めて考えます。



Profile

1970年東京生まれ。歴史社会学者・作家。博士（学術）。女性に関するテーマを中心に、執筆・講演活動を行う。著書に『明治のナインゲール 大関和物語』のほか、『明治を生きた男装の女医 高橋瑞物語』、『生理用品の社会史』など。大関和や看護の歴史について子どもたちにも知ってほしいと、2026年4月、『ナインゲールの風が吹く 大関和と近代看護の物語』を刊行。

座談会：田中ひかる先生を囲んで

堀田 彰恵 川崎市看護協会 会長
皆川 陽子 関東労災病院 副看護部長 / 川崎市看護協会 理事
神田 循大 研究開発課題3 副リーダー / 東京大学大学院工学系研究科 助教
モデレータ
島崎 真 副プロジェクトリーダー / iCONMコミュニケーションマネージャー

開催方法 会場 & オンラインのハイブリッド開催

会場 川崎市産業振興会館
JR川崎駅北口徒歩7分 (13:00受付開始)

ライブ配信 Zoomウェビナー

参加費 無料 (意見交換会費: ¥2,000)

参加申込 11月20日(金) 17:00まで ※要事前参加登録
定員：会場350名/オンライン1000名
※定員に達し次第、受付を締め切ります。



CHANGE 共創の場形成支援プログラム

16:15~

休憩/ティーブレイク

16:25~

パネルディスカッション AI時代のケアイノベーション

AIや先端科学を活用し、ケアの需要と供給のバランス是正を目的としてプロジェクトCHANGEが
挑む「AI時代のケアイノベーション」について、研究開発課題リーダーたちの考えを伺います。

高木 健 東京大学大学院工学系研究科 助教
仲上豪二郎 研究開発課題1 リーダー / 東京大学大学院医学系研究科 教授
西山 伸宏 研究開発課題2 リーダー / 東京科学大学総合研究院 教授
仙石慎太郎 研究開発課題3 リーダー / 東京科学大学環境社会理工学院 教授
モデレータ
永井 浩二 副プロジェクトリーダー / iCONM副センター長

17:25~

閉会挨拶

鈴木 毅 川崎市産業振興財団 理事長

17:50~

意見交換会

お問い合わせ

公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)
CHANGE 研究推進機構事務局 change-event@kawasaki-net.ne.jp